

栽培漁業（3単位）

必修

3年アクアライフ科バイオ技術コース

授業の概要	(内容) 栽培技術の習得を行うための基礎から各論に至までの幅広い学習であるが、ここでは校内及び、津屋崎沿岸を利用し、栽培している生物について学習していく。		到達目標	種苗の生産と栽培技術、水産育種とバイオテクノロジー、飼料、病気、漁業経営、流通など水産増養殖に関する知識と技術を本校で飼育する生物を通じて習得し、その種苗生産技術と管理技術とがどの生物についても応用できるように能力と姿勢を作り上げることが目標とします。	
	(形態) 講義・実験				
年間の授業計画		項 目	内 容		
	一学期	4	オリエンテーション 金魚、ヒラメ	・授業の進め方について説明。 ・金魚・ヒラメの種苗生産を行います。	
		5	金魚、ヒラメの稚魚の飼育と選別	・初期餌料の培養から選別まで学習します。	
		6	錦鯉、クルマエビ	・錦鯉、クルマエビの種苗生産を行います。	
		7	錦鯉の稚魚の飼育と選別	・初期餌料の培養から選別まで学習します。	
	二学期	9	金魚、錦鯉の病気の治療	・病気とその治療方法を学習します。	
		10	スッポン、アワビ	・スッポンの飼育、アワビの種苗生産を学習します。	
		11	アユ、ワカメ	・アユの種苗生産とワカメの養成について学習します	
		12	ノリ、コンブ	・津屋崎産ノリ、コンブの生産に挑戦します。	
	三学期	1	ノリ、ワカメの収穫	・ノリ、ワカメの収穫を行います。	
		2	コンブの間引き	・コンブの間引き方法を学びます。	
		3			
	学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・水産生物、漁場環境と関連づけながら学習を行います。 ・チャイムが鳴る前に教室に入り、準備に努めてください。 ・正しい姿勢で授業に望んでください。 ・ノートは各考査まで4回～5回点検します。欠席の場合は出席次第速やかに提出しましょう。大学ノートに書くようにして他の教科と兼ねたノートは不可。 ・生物の栽培を通して生命の大切さ、自然環境の偉大さを感じることでしょうが、生命の尊重を学習することを心がけ授業を進めていきます。一人ひとりが責任を持って飼育する心構えを学習の中で創り上げていきます。 			
評価方法	ペーパーテスト70%		平常点30%		
	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書、ノート、実験・実習の内容より出題 ・主に種苗生産の技術を問いかけていきます。教科書、ノートでは得ることが出来ない技術の確認をペーパーテスト上で行います。 		<ul style="list-style-type: none"> ・出欠状況（遅刻・欠席） ・授業の取り組む姿勢 ・ノートの提出状況と内容 ・生物の飼育状況 ・チャイムを守っているか ・良い姿勢で授業を受けているか。 ・ノートの提出とその内容はどうか。 ・生物の飼育に責任を持って行っているか 		
教材	教科書 『栽培漁業』（文部科学省）		アドバイス	ここでは飼育技術を覚えていくことを中心に授業を展開していきます。飼育していく中で、生物がみなさんの体の一部分の様に感じられていくことでしょう。	